

上毛新聞 2015年(平成27年)3月29日(日曜日) 地域 (14)

県央

情報は支局へ

前橋
☎ 027-254-9933
Fax 027-252-5321

高崎
☎ 027-360-3536
Fax 027-360-3530

伊勢崎
☎ 0270-26-4343
Fax 0270-26-4342

購読のお申し込みは
☎ 0120-808046へ

雪害の五輪桜満開

高崎・吉井
仁叟寺 ボランティアが“治療”



昨年2月の記録的大雪で幹や枝が折れるなどの被害を受けた高崎市吉井町神保の仁叟寺(渡辺啓司住職)のコヒガンザクラ「五輪桜」が、満開を迎えた。ボランティアによる懸命の“治療”が実を結び、2年ぶりに復活。こぼれ落ちそうな淡いピンク色の花が訪れた人を癒やしている。

2年ぶりに堂々と咲き誇る五輪桜。右上に幹が裂けた跡が残っている。

ど開かなかった。日ごろからボランティアで五輪桜の世話をしていた檀家の矢嶋巖さん(左)と加藤壮士さん(右)が中心となり、裂けた幹を片付けたり、落ち葉を根の周りにまいたりして世話を続けたところ、徐々に元気を取り戻した。

2人は「まだ弱っている幹もあるが、よくこれだけ咲いた」と喜び、渡辺住職は「一時はどうなることかと思ったが、耐えてくれた。地域に春を連れてきてくれた」と話していた。

境内の他のコヒガンザクラ4本も満開。1週間ほど楽しめるといい、この期間はボランティアが交代で境内を案内する。問い合わせは同寺へ。

三曲で世界遺産祝う

12日の本番向け合同練習

高崎

NPO法人三曲合奏 産業遺産群が世界文化研究グループ(江藤無)と連携し、三曲(第一、第二、第三)を演奏し、三曲の魅力を伝える。

雪害の五輪桜満開

高崎・吉井の仁叟寺 ボランティアが“治療”

昨年2月の記録的大雪で幹や枝が折れるなどの被害を受けた高崎市吉井町神保の仁叟寺(渡辺啓司住職)のコヒガンザクラ「五輪桜」が、満開を迎えた。ボランティアによる懸命の“治療”が実を結び、2年ぶりに復活。こぼれ落ちそうな淡いピンク色の花が訪れた人を癒している。

地中からの5本の幹が輪のように伸びていることから名付けられた五輪桜は、高さ約18メートルの大木。市保存樹木に指定されている。昨年の大雪で幹や枝が無残に折れて木が弱り、春になっても花はほとんど開かなかった。

日ごろからボランティアで五輪桜の世話をしていた檀家の矢嶋巖さんと加藤壮士さんが中心となり、裂けた幹を片付けたり、落ち葉を根の周りにまいたりして世話を続けたところ、徐々に元気を取り戻した。

2人は「まだ弱っている幹もあるが、よくこれだけ咲いた」と喜び、渡辺住職は「一時はどうなることかと思ったが、耐えてくれた。地域に春を連れてきてくれた」と話していた。

境内の他のコヒガンザクラ4本も満開。1週間ほど楽しめるといい、この期間はボランティアが交代で境内を案内する。問い合わせは同寺へ。